

## 上田西部地域協議会会議録

日時 平成 18年 12月 18日 (月) 午後 7時 00分から午後 9時 00分

場所 上田市西部公民館 2階 講義室

出席委員 表委員、金井委員、小林委員、菅沼委員、鈴木委員、滝澤委員、竹内委員、中沢委員、原委員、藤澤委員、松本委員、宮尾委員、宮下委員、村山委員、母袋委員、森泉委員、横沢委員

市側出席者 原沢自治振興課長、小宮山自治振興課課長補佐、柳沢主査  
西沢政策企画担当主査

### 1 開会 (原沢自治振興課長)

### 2 会長あいさつ (宮下会長)

本日は市から総合計画の諮問が予定されている。第3回目の協議会を迎え本格的な議論の場になろうかと思う。答申に向け活発なご意見、提言をお願いしたい。

### 3 会議事項

#### (1) 諮問

第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について

#### (宮下会長)

お手元の資料「上田西部地域(西部地区、塩尻地区の概要)」は、事務局にお願いし作成した資料である。資料にある数字的なものも参考にさせていただければと考えている。

それでは、会議事項に入ります。第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について、事務局から説明をお願いします。

#### (原沢自治振興課長)

小林上田地域自治センター長から宮下会長へ第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について諮問をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

〔小林センター長から宮下会長へ諮問書が提出される〕

#### (原沢自治振興課長)

諮問の内容につきまして、担当課から説明をさせていただきます。

「1 第一次上田市総合計画地域まちづくり方針の策定について」

## 「2 総合計画の策定方針について」

政策企画課 西澤主査から説明

(原沢自治振興課長)

大変忙しいスケジュールとなっておりますが、2月5日までに答申をいただきたくよろしくお願ひしたい。

前回説明させていただいた新市建設計画の中では、旧上田市全体で一つのまちづくり方針が記載されていたが、旧市のエリアに6つの地域協議会があるので、それぞれ地域ごとに特色を活かしたまちづくりの方針を答申いただきたい。事務局で3項目のたたき台を作成し、事前に送付させていただいた。各協議会のバランスを考慮し、5から7項目程度で答申をいただければと考えている。

(宮下会長)

答申期限が決まっていることもあり、スピードを早め濃密な議論を進めないという内容が伴っていかないという気がする。

ただいまの説明の中で質問等あればお出しいただきたい。

(委員)

事前に送付された資料の地域の課題についてであるが、塩尻地区の自治連についてはいくつか提案されており、それが方向性になるかと思うが、西部地区についてはそのような課題はないのか。

(原沢自治振興課長)

事前にお送りした西部地域の課題というシートは、ここ2、3年の間に市へ要望のあった事項について、課題に当たるという意味からお示したところである。

西部地区については、特に市に対する要望事項がなかったため、資料には掲載していない。

(委員)

地域協議会から答申したものは、どのように総合計画に反映されていくのか。

(原沢自治振興課長)

各地域協議会ごとに答申いただいた地域まちづくり方針が、基本的にはそのまま総合計画に反映される。各地域協議会からの答申内容を総合計画の審議会へ送り、計画本体との整合性を図ったうえで、まちづくり方針を含めた計画全体を審議会から市長へ答申いただくことになる。

(宮下会長)

各委員に計画シートの提示をお願いしてある。逐次お出しいただきたい。

(委員)

項目 「近代化遺産の積極的な活用による地域振興」について)

北国街道の古いまち並みや家並みを大切に保存して、住民参加型の地域振興を

図る。

項目：「地域に誇れる自然資源の保全と有効活用」について

矢出沢川の水路とその周辺の遊歩道の整備を実施し、観光資源の創出と住民の健康増進を図る。

項目：「安全なまちづくりと地域ぐるみの防犯体制の整備」について

子ども見守り隊の実績を生かし、地域の防犯を住民との協力体制で強化し、地域の子育て力をより高め、お年寄りも安心して住めるモデル地区を目指す。

(委員)

項目 について

塩尻秋和地区の皆さんの長期にわたる近代遺産等の調査により立派な資料ができたと聞いている。それを活かして、更に地域の発展と観光に役立つことがあればいいと思う。

項目 について

常磐町が2年前からふれあいウォーキングを始めたが、バイパスの歩道が切れているので、その間の歩道整備を実施してほしい。

(委員)

項目 について

各地域にある神社の歴史やいわれ、祭りを住民が勉強するとともに、参加し活用して地域の振興を図る。

項目 について

矢出沢川の遊歩道と北国街道をまじえたウォーキングの設定による地域の活性化に力を入れる。また観光にも力を入れる。

項目 について

子ども見守り隊は、西部地域が最初に立ち上がって、各地域に広がっていったという良さを活かして、安全、安心に住民が暮らせる地域を目指す。

提案

・福祉のまちづくり

高齢者や障害者が生活する毎日の中で、安心して暮らせるまちづくりを目指す。

施設がさらに充実すれば、子供たちや地域との交流が深まるのではないかと思う。

(委員)

項目 について

地域の名所マップ作り、県等とタイアップし上田市の良いところなどをPRしたり、人を呼ぶ努力が必要。

項目 について

矢出沢川のホタルの育生については、歩道の U 字溝を石積みしたり、塩尻のように砂を敷く等自然のものにしていく必要がある。

項目 について

郵便局では市とのタイアップで、道路のくぼみ等を知らせたり、独り暮らしお宅を訪問したりしている。防犯委員等を数名委嘱し、子どもを守っていく取り組みも必要である。

(委員)

項目 について

つむぎ工場や福無量という酒があるが、その水が観光につなげられないか。

項目 について

緑ヶ丘から太郎山へ登る道が、熊が出るとなってるし、近道は崖が崩れているのだが、何とかならないか。

項目 について

安全面では、西小学校の環境が昔より良くなっているが、普通教室以外も同様の環境が確保されているか。塩尻小学校との関係はどうなっているのかなど、子供の環境問題を見てあげたい。

消防に関して、消防団員がいなくて困るが、どう確保するのか。また、その方々の保障はどうか。

提案

- ・上塩尻東交差点は立体交差点にしたほうが良かったのではないか。
- ・緑ヶ丘発別所行きのバスが減ってしまって不便である。老人会の方の話では、お金を出さないと結局車が動かないという。大きなバスでなく、マイクロバスを走らせてはどうか。
- ・市民会館が充実すれば、いいのでは。老朽化している西部公民館については整備が必要である。
- ・働く女性が安心して子供を預けられるように児童センターを整備する。

(委員)

提案

- ・子どもが子ども時代を生きれるまちづくり

今、子どもらしく生きられない世の中である。子どもが生きづらさを感じている。方針として、遊びを大切に。子どもの立場に立って楽しいもの、例えば、自然体験を満喫できるところをつくる。プレイパークを西部地域に設ける。

- ・異世代交流が出来るまちづくり

核家族が増え、家庭だけでは子どもの教育は出来ない、社会の中で育てられる環境づくりが必要である。血のつながらないじいちゃん、ばあちゃんとのつながるしくみ、地域で単独世帯への子どもホームステイなど体験交流的なものを検討

していく。

(委員)

西部地域総合計画住民アンケート結果の上位に挙げられたものから進めていけばいいのではないかと思う。

(委員)

各地区ごとに自信のもてるもの(特徴)を一つ二つ挙げて自分たちのまちの宝にしてつくりあげていけばどうかと考える。

提案

- ・遊歩道の話が進んでいるようだが、緑ヶ丘の指差しコールにイルミネーションをつけてはどうか、市役所から見える素晴らしい景観になるのではないか。
- ・資料館が活かされていない。(塩尻小学校にあるが)ほとんど閉まっているのでなんとか活かせないか。
- ・子どもの育成の問題について、朝8時前に登校する子は挨拶し返してくれるが、8時以降に登校する子は挨拶しないことが多い。せめて、顔見知りの人には挨拶をしようという運動はどうか。
- ・育成会の中で、上田市を我が故郷として語れるような子どもを育てていきたい。
- ・国立長野病院の評価のことがあったが、上田市には病院が沢山あるが、それぞれの病院の特徴がわからない。できるだけ専門の医師にかかりたいが、どこに行けいいか、どこにあるのかわからない。そこで、各病院のPRも兼ねた病院マップのようなものができるといいのではないか。
- ・姉妹都市提携されている中で、鎌倉でマラソンをやっている友人がおり、会の方から招待があれば来たいという話があるようで、そのような交流も考えられる。
- ・別所線について、竹の子太郎の話とかけたイベントや名称などを考えてPRしてはどうか。

(委員)

項目 について

北国街道について古い町並みや蚕産業が発展した地域を生かし、それを観光産業に結びつけることができるまちづくりを進める。

項目 について

太郎山、虚空蔵山に関しても自然や地形をいかした公園の整備それと提携したトレッキングコースを整備し集客に結び付けたい。

項目 について

見守り隊、はぐくみ隊などの実績をいかした地域ぐるみの防犯体制の強化

提案

学級PTAにおけるアンケート結果について発表したい。

- ・児童センターを学校へ併設することによって子育てのしやすい地域になる。

- ・自然を生かした体験学習の強化のため裏山にトレッキング施設等を整備する。
  - ・子どもに対してよい地域であると感じてもらうことで今後を見据えて U ターンの強化を図る。
  - ・子どもが学習や生活に集中できるまちづくり、1 時間弱かけて塾などに通うことがないような交通の充実
  - ・レジャー施設の立地をふまえて子どもに対する安全や防犯などの対策
- これらを総合的に取り組み、子育てのモデル地域として考えてはどうか。

(委員)

項目 について

旧北国街道の街並み、新町の歴史の散歩道の保存と活用。後世に残したい建造物が数多くあり、これらの保存が重要である。

項目 について

矢出沢川の清流の維持と両岸の風景の保全と整備、散策コースの更なる延長と充実、ふるさとの山や川は地域住民の宝として守っていくべきである。

項目 について

安全なまちづくりにはまちの環境が重要で、ひとつの方法として空き地等を花壇やミニパークで活用したり、個人の住宅、道路に面したようなスペースは花や緑を植えて通りの景観などに皆で配慮することが必要ではないか。

提案

地域の自治会単位ぐらいでボランティア組織をつくって助け合いの精神を育むこと、子どもから大人までの自分の出来る範囲で奉仕する、自分が困ったときには助けてもらえるような組織づくりが大事ではないか。

(委員)

基本的に課題については、たたき台の項目で進めてもらえばいいのではないかと。それぞれの項目を実現していくために、現状についてふれておいた方がいいと思う。

項目 について

塩尻地区に現存する蚕室づくりや家並み、桑畑の石垣等は、今日辛うじて残っているが、現存する施設等の維持、管理が所有者、個人、団体等に任せきりの現状である。時代の推移、代替り等で消失の恐れがある。お客を呼ぶ前に保存の条件づくりを進めなければならない。一定の地域を指定して、早急に支援する体制づくりが必要である。

項目 について

安全なまちの観点で、先ほどからご意見があるように、地域全体であいさつが響きあうような環境が安心安全確保の条件ではないか。例えば、あいさつ通りの指定などの工夫も大事であろう。そのために、看板等により趣旨を周知す

る。

#### 提案

##### ・里山を次世代に

この地域は太郎山から虚空蔵山から千曲川まで広い範囲を含み、山林が半数近くを占める。しかし今日、目の前にある山林は危機的な状況にあることを認識すべきである。山の仕事が放棄され管理ができていない。山肌が弱くなり、これまでにない集中豪雨など発生した場合は崩落の危機にある。合併後上田市の半分が山林となり、地域の問題だけではない。

山林管理責任は、市、自治会、森林組合、個人にあるが、山林の現状を踏まえ総合的に山林のあり方の方針、方策を打ち出すことが大切である。それにより、ふるさとの自然環境、景観を守り、安全、安心の地域づくりになる。

指さしコールの物語をつくって子ども達に夢を見てもらうことが必要、そのことが山の理解にもつながるのではないか。

- ・各自治会の宝をそれぞれ公開するようなことで、地域の文化を語ってもらうような土俵づくりが重要である。
- ・別所線について、千曲川右岸地域での活用が少ないが、例えばつり革の広告を一部買いとるなどして、「I Love 別所線」など市民が感化するような PR などにより、もっと参加してもらうことも必要である。

#### (委員)

総合計画の西部地域にかかる住民アンケートの結果を掘り下げて話し合えばどうかと思う。

#### (委員)

#### 提案

シート『地域特性と発展の方向』について

「・・・静かな住宅地と田園空間が混在する地域です。」の後を「市街地の拡大を抑制しながら静かな田園地区と住宅地を守りながら高齢者、障害者、子どもたちが安心して安全に住めるまちづくりを進めます。」とする。

たたき台3項目のほかに以下の4項目を加えたらどうか。

- ・世代間交流でつくるまちづくり
  - 2世代(お爺ちゃんお婆ちゃんと子ども)でつくる児童センター
- ・地域で子どもを育てるまちづくり
  - 西小、塩尻小学校の廃校の問題が出てくるので統合して小中一環のまちづくり
- ・地域コミュニティの確立を目指したしたまちづくり
  - 災害時に自治会としてお年寄りを助けたり声かけができるまちづくりに
- ・高齢者、障害者にやさしいまちづくり

将来の問題として誰もが高齢者、障害者になり得るという視点が重要である。  
重要なのは市街地の抑制について、レジャー施設の進出、工場の拡張で田園  
地区が失われることが懸念される。

(委員)

提案

- ・塩尻地域では交通渋滞が一番問題で道路の整備が進まない。身近なところで工夫すれば抜け道はできると思うので、その推進が必要である。東交差点の道路拡幅、バイパス式に整備すべきである。
- ・環境問題について下塩尻でホテルが育ってきているが、上の方から河川改修して育てればいいのではないか。
- ・北国街道はできれば道路側に説明書きをつければもっと散策する人の知識も増えるのではないか。
- ・子どもの安全について、携帯への配信メールがあるが、そのようなものをもっと普及させるべきではないか。
- ・文化財について現在居住していないものもあるが、保存していこうという意識の向上が重要ではないか。
- ・山のことで、クヌギが多く昆虫の育つ環境には良い。ケンサンの育成にもつながるのではないか。ボランティアの活用で養蚕の復活を検討してもいいのではないか。

(委員)

たたき台3項目については、今日出ている意見を肉付けしていけばいいのではないかと思う。それと先程委員から出された4つの項目を織り込んでいけばいいのではないか。

項目 について

北国街道沿いの家並み保存と諏訪部地籍には芳泉寺があり、真田家ゆかりの真田信幸奥方の小松姫の墓がある。都市環境を活用した地域の振興を図る。

項目 について

高齢者の文言について補足したらどうか。

提案

自然を守るまちづくり(環境)

- ・環境問題について、タローファーム豚舎の悪臭対策が必要ではないか。
- ・山が荒れている指摘について、虚空蔵山の土砂崩落があり、上流ヘダムなどを整備し、土砂の流出防止を希望したい。

(委員)

先ほどから山あり川ありとお話がある中で、八幡神社等の周辺などは比較的散歩の方も見えるが、大蔵京古墳の西側を緑化公園にでもしたらどうか。

充実した病院や産婦人科があり、学校、遊ぶ場所など整っていないと安心できないということで、これらの条件が揃っていればもっと人も寄ってくるはずである。

(宮下会長)

それぞれ貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。

わが西部地域は豊かな自然と深い歴史の中で生きているということを感じた。その環境をさらに深みのあるものにしていったらどうかという多くのご意見をいただいた。山があり、川があり、国道があり、新幹線も通っており、蚕都上田の核をなした塩尻地区の面影も残っている。それをいかに若い人に受け継いでいくかが課題であるといった意見もいただいた。国道 18号線に係る交通渋滞の解消、少子高齢化、子育てに関する地域の役割等々、あいさつ通りといった大変ユニークなご意見も出していただいた。

意見の補足や意見交換をお願いしたい。

(委員)

農業の関係で、地元の農産物を地区内で食べられるような配慮、地場産業活性化、地産地消が重要と考える。

(委員)

山極勝三郎の記念館はどうなっているか。健康へつなげられるのではないか。

(委員)

大河ドラマ風林火山に関連して、太郎山山麓の山城を PR できないか。

(宮下会長)

西部公民館が中心になって太郎山の山頂から下塩尻までの縦走路の整備をボランティア 60 名で 3 回にわたり実施した。

太郎山は市民の山(森)という誇りもあるし愛着もある。ふるさとの山を自分たちで守るという崇高な精神で取り組んでいる。そういった活動にも西部地域の方々に参加していただきたいと思っている。

子ども達とふれあいの中で体験学習をしながら子育てをすれば大きな意義がある。

観光だけでなく、地域に密着した子育てやコミュニケーションの場ともなるので、そのあたりも大きな項目の一つとして入れていただければと思う。

(委員)

流行歌があるとその地域が活性化する。何か歌になるようなものを考えてみた時サカサギがある。上田地域の歌を何か考えたい、活性化につながるのではないか。

(委員)

上田は歴史資源が豊富なので、資源をつないだ物語をつくるなど工夫の仕方があると思う。

(原沢自治振興課長)

本日いろいろご意見いただいた。たたき台 3 項目以外で提案いただいた高齢者、

福祉、子育て等の項目についても事務局で素案を検討し、次回までに提示させていただきたい。

(宮下会長)

積極的、建設的なご意見に感謝する。事務局にまとめをお願いし、方針の原案を作成願いたい。

## (2) その他

・〔仮称〕上田市地域協議会連絡会議の設置について

事務局(小宮山自治振興課課長補佐)から説明

各地域協議会の正副会長で構成(9地域協議会、18名)

・公民館の地域協議会への関わりについて

(委員)

公民館(職員)に地域協議会に関わってもらえるとさらにいい地域づくりができると思うがどうか。

(事務局)

現在内部的な組織のあり方については検討中のところである。ご指摘の点も視野に入れながら検討を進め、皆様にお知らせすることができるようになった時点で報告させていただきたいと考えている。

・次回の日程について

1月15日から19日の間で開催を予定している。